

令和5年度 第1回 向日市国民健康保険事業の運営に関する協議会会議録

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | 日 時 | 令和5年8月9日（水） 午後2時～2時45分 |
| 2 | 場 所 | 向日市役所 本館 第7会議室 |
| 3 | 出席委員 | 香本会長、佐々木副会長、河合委員、梅地委員、平田委員
橋井委員、山口委員、中川委員
山本加津子委員、大島委員、山本哲也委員、築山委員 （12名） |
| 4 | 欠席委員 | 堀委員、若江委員、福井委員（3名） |
| 5 | 傍 聴 者 | なし |
| 6 | 議 題 | (1) 令和4年度向日市国民健康保険事業報告について
(2) 令和5年度向日市国民健康保険当初予算について
(3) 令和5年度向日市国民健康保険事業計画について
(4) その他 |

議事（要約）

- 1 部長あいさつ
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 議題

（1）令和4年度向日市国民健康保険事業報告について

<事務局からの説明>

- ・ 加入者は減少傾向であり、昨年度末と比較し 599 人減少
- ・ 保険料の賦課について、京都府の標準保険料率を基準に設定
- ・ 保険給付費はコロナ禍での受診控えが徐々に戻りつつあり、1人当たりでは約3万8千円の増加
- ・ 重点事項の取組

新型コロナウイルス感染症による影響を受ける被保険者への支援

- ・ 保険料減免・徴収猶予の実施 （減免申請 36 件、減免額 8,533,805 円）
- ・ 傷病手当金の支給 （31 件、支給額 702,501 円）

医療費の適正化

- ・ 医療費適正化の普及・啓発の実施（パンフレットの配布）
- ・ 後発医薬品の使用率向上（前年同月比 1.8%増）

国保財政の健全化

- ・ 保険料収入の確保（現年度収納率 95.57%、滞納繰越分収納率 24.59%）
- ・ 補助金の獲得
- ・ 償還金の返済

（２）令和５年度向日市国民健康保険当初予算について

<事務局からの説明>

- ・歳入の保険料は約 9 億 7,013 万円となり、前年度から 6.7 %増。保険料率が上がったため。
- ・歳出の保険給付費は約 40 億円で、歳入の府支出金として全額交付
- ・予算の医療費は府交付金があるため、実質、国民健康保険事業納付金と保健事業費の歳出と保険料と繰入金がおおよそイコールになるように予算編成を行っている。
- ・京都府への償還金として、「公債費」に約 1 億 2,600 万円計上

（３）令和５年度向日市国民健康保険事業計画について

<事務局からの説明>

- ・重点事項として、①健康づくり（保健事業・医療費の適正化）の推進、②医療費の適正化、③国保財政の健全化を設定
- ・重症化を予防できる生活習慣病について、予防と早期治療ができる仕組みを整える。
- ・特定健康診査等実施計画・データヘルス計画の策定
- ・重症化するリスクの高い未受診者への家庭訪問、治療中の方へ主治医の許可を得ての保健指導・栄養指導の実施
- ・医療費適正化のパンフレットを作成し、加入者に正しい知識を持ってもらえるよう周知
- ・後発医薬品の使用率向上のため、差額通知を送付
- ・保険料の収納率向上を目標に、早期納付勧奨や、細かい対応による滞納整理を実施
- ・事業経費を助成する従来型の補助金だけでなく、努力や成果に応じた補助金の獲得
- ・京都府からの貸付金について、令和５年度に返済を終える。

（４） その他

<事務局からの説明>

- ・令和４年度医療費における予防可能な生活習慣病として、糖尿病が約 1 億 8 千万円、慢性腎不全が 2 億 2 千万ある。
- ・特定健診結果から京都府と比較し、１日１時間以上の運動をしていない人の割合が高い。喫煙習慣の値が高い。
- ・健康課題の取組として、特定健診の受診勧奨に努める。
- ・メタボの方への保健指導の実施
- ・特定健診及び保健指導については、京都府平均・全国平均に比べ高い実施率となっている。
- ・糖尿病性腎症重症化予防事業として、保健師、栄養士が家庭訪問を実施
- ・高血圧重症化予防事業としても、家庭訪問による受診勧奨や保健指導、栄養指導を実施
- ・令和４年度は、予防可能な生活習慣病に係る医療費の割合は減少傾向となっている。

<委員からの意見>

- ・喫煙者の割合が減少しているが、取組の成果か。
- ・喫煙者の割合は、社会的な背景など複合的な要因があると考えるが、粘り強く取組んでいただきたい。
- ・糖尿病性腎症重症化予防や高血圧重症化予防で未治療者、治療中断者の方に対する指導は何名の職員で行っているのか。
- ・アンケートで睡眠不足とあるが、何時間が適切なのか。

<事務局からの回答>

- ・広報等への啓発や禁煙の取組として、禁煙チャレンジ、個別支援を実施している。取組の成果として、直結しているかは検証が難しい。
- ・保健師と管理栄養士で7名から8名で実施している。
- ・概ね6時間から7時間程度といわれているが、アンケートの睡眠不足とは、時間ではなく、主観的な質問項目の集計である。